

**Express5800 シリーズ「VMware ESXi 6.0/6.5/6.7 の環境に Agentless Management Service (AMS) version 11.4.0 がインストールされている場合、VMware Update Manager による VMware システムの更新が失敗することがある」件について**

日頃より弊社 Express5800 シリーズをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。

下記のサーバ装置において VMware ESXi 6.0/6.5/6.7 環境をご使用の場合、以下の事象が発生する場合があります。

対策版システム情報を以下に記しますので、ご適用をお願いいたします。

**1. 障害事象**

VMware ESXi 6.0/6.5/6.7 の環境に Agentless Management Service (AMS) version 11.4.0 がインストールされている場合、VMware Update Manager による VMware システムの更新が、/tmp ディレクトリへステージングするための空きがないことを示すエラーで失敗することがあります。

また、/tmp ディレクトリの使用可能なディスク容量に依存する他のアプリケーションでも同様に失敗したり、ESXi のシャットダウンが正常に行えないことがあります。

これらの問題は VMware ESXi ホストの /tmp ディレクトリにある “ams-bbUsg.txt” ファイルのサイズが時間の経過とともに増加することが原因となります。

**2. 対象機種**

Express5800/R120h-1M  
Express5800/R120h-1M (2nd-Gen)  
Express5800/R120h-2M  
Express5800/R120h-2M (2nd-Gen)  
Express5800/R120h-1E  
Express5800/R120h-1E (2nd-Gen)  
Express5800/R120h-2E  
Express5800/R120h-2E (2nd-Gen)  
Express5800/T120h  
Express5800/T120h (2nd-Gen)  
Express5800/R110j-1

**3. 対象 OS**

VMware ESXi 6.0  
VMware ESXi 6.5  
VMware ESXi 6.7

## 4. 対象バージョン

Agentless Management Service (AMS) バージョン 11.4.0

### <バージョン確認方法>

◆Agentless Management Service(AMS)のバージョンの確認方法には以下の2つの方法があります。

#### ・対象装置の OS 上で確認する方法

(1) コンソール端末から以下のコマンドを実行します。

```
# esxcli software vib get -n amsd | grep Version
```

(2) コマンド実行結果から「600.xx.x.x-...」、「650.xx.x.x-...」などの xx.x.x の箇所を確認します。

xx.x.x の箇所がバージョンになります。

例) VMware ESXi 6.0 環境で 11.4.0 の場合は「600.11.4.0-...」と表示されます。

#### ・iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法

(1) リモート環境において、Web ブラウザーから iLO Web インターフェースにログインします。

(2) 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ソフトウェア」を選択します。

(3) 画面の「Product Related Software」の「amsd」のバージョンを確認します。

「600.xx.x.x-...」、「650.xx.x.x-...」など、xx.x.x の箇所を確認します。

xx.x.x の箇所がバージョンになります。

例) VMware ESXi 6.0 環境で 11.4.0 の場合は「600.11.4.0-...」と表示されます。

## 5. 対策

① 本事象は Agentless Management Service (AMS) 11.4.5 で修正されています。

VMWare のバージョンによって AMS のダウンロードサイトが異なりますので

下記のサイトをご確認いただき、AMS のアップデートを行ってください。

※iLO5 ファームウェアのバージョンが 1.45 未満の場合は、iLO5 ファームウェアの

アップデートも行ってください。詳細は下記のサイト(セットアップ手順)をご確認ください。

■ご使用の OS が ESXi6.0 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108698>

■ご使用の OS が ESXi6.5 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108699>

■ご使用の OS が ESXi6.7 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108700>

- ② すぐにアップデートを行うことが出来ない場合は VMware ESXi ホストの /tmp ディレクトリの空き容量を確保するために “ams-bbUsg.txt” ファイルを定期的に削除してください。

※ファイルを削除した場合でも再度ファイルが作成されます。また、VMware ESXi ホストを再起動した場合も当該ファイルは削除されますが、再起動後に再度作成されますので定期的に削除をお願いいたします。

/tmp ディレクトリの容量が 256MB である場合、2 か月程度で上限に達することがあります。

1 か月に一度を目安に削除してください。

ご使用の環境の /tmp ディレクトリの容量に比例してファイル削除の実施頻度を変更してください。

例) /tmp ディレクトリの容量が 512MB である場合、4 か月程度で上限に達することがありますので、3 か月に一度を目安に削除します。

◆ /tmp ディレクトリの容量は以下のコマンドを実行することで確認することができます。

“tmp” の行を確認してください。

```
# vdf -h
```

```
:
```

Ramdisk	Size	Used	Available	Use%	Mounted on
root	32M	2M	29M	7%	--
etc	28M	172K	27M	0%	--
opt	32M	564K	31M	1%	--
var	48M	448K	47M	0%	--
tmp	256M	276K	255M	0%	--

```
:
```